

防災

防災情報について

遠藤 秀則

**Q** 大きな災害が起こらないことを祈るばかりですが、災害時において住民に迅速に正確な情報を伝達することは最も重要なことと考えています。実際の災害では個々のニーズに応える確かな情報提供は難しいと思いますが町の対応を伺います。

**A** 町での情報提供は、防災行政無線の放送が中心。今後、衛星電話の活用、デジタル化へさらなる対応拡充強化に努めて行く。

**Q** 大涌谷周辺での火山活動の活発化に対する情報提供の状況は。

**A** 総務課職員が問い合わせにに対応した。ホームページや回覧での情報提供を行った。

**Q** パソコンが、使えない方や回覧が来ない方等、情報を得ることが困難な方への対応は。

**A** 今後の大きな課題として受け止める。

**Q** 御殿場市での演習音が、住民や観光客に地震ではないかと不安を抱かせています。無用な不安を抱かせないような対応は出来ませんか

**A** 演習に関しては問い合わせも多く、自衛隊に対し事前公表をお願いしているが実現していない。今後も粘り強くお願いしていきたい。

**Q** 携帯電話を活用すべしと考えますが

**A** ご指摘のとおりとされているのでメールマガジンの登録手続きの簡素化を図り加入率の向上に努めていきたい。



大涌谷

教育

箱根教育（学校教育）について

稲葉 親太郎

**Q** 全国学力・学習状況調査について

**A** 毎年4月に小学校6年生と中学3年生を対象に国語・算数（中学生は数学）24年度は理科についても調査が実施され、本校3小学校1中学校が抽出校となりました。調査結果については、8月8日に都道府県別に公表を行い、市町村別には行ってない。

当町の結果については、ほぼ全国平均に近い状況であるが、学校によりばらつきがあり、小学校の国語と理科においては、県平均を超えている学校もあり、算数の知識に関する問題や国語と算数の活用に関する問題でも県平均レベルに近い正答率の学校もあるし、教科の領域ごとの結果は、国語の漢字の読み書きの正答率が、設問によっては県や全国の平均を上回るケースが出ています。算数の計算領域についてもほぼ県や全国の平均値なみの結果が出ており、箱根ミニマムとして

その成果が徐々に出てきている。中学校においては、もう少し努力が必要ではあるが、小学校での定着が図られつつあることを考えると、今後、基礎学力の定着という面で着実に力をつけていくと思われる。また、数年前に比べ、無答の割合が明らかに減り、粘り強く問題解決に取り組もうという姿勢が育ってきていると思われる。



福祉

老人福祉について

勝俣 剛一

**Q** 一人暮らし老人等の日常生活の安全確保について現況と今後について

**A** 日常生活の安全確保として2つの事業がある。まず、1つ目として、ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業がある。町内在住の65歳以上の高齢者や慢性疾患等により日常生活に注意を要する方を対象とし24時間体制で見守っており電話機やペンダント形の携帯用無線機で見守る。次に2つ目は、配食サービスの事業。要介護状態や調理困難の方を対象としボランティア団体「寄木の会」の協力を得て、週3回安否確認を併せて実施している。これらについては今後も民生委員や児童委員、地域包括支援センター等の協力を得て継続していく。

**Q** 今年度新規事業として実施する「救急医療情報キット」の配付方法について

**A** 配付対象者は65歳以上のみで構成される

